

つたえることと気づくこと

(3年)



さいゆうしゅうしょう
最優秀賞

わたしは、生まれつき耳があまり聞こえません。2才の時からほちょうきをつけています。ほちょうきをつけていても、まわりがにぎやかだと、友だちの話や聞きたいことが聞こえないことがあります。大きな音にとてもびっくりしてしまうこともあります。ほちょうきをつけているからふつうに聞こえていると思われませんが、本当はこまっていることもあり、それは気づかれないことが多いです。

3年生になった時に、クラスがえがありました。そこで、先生といっしょに考えた紙しばいをみんなの前で発表しました。わたしのことを知ってもらうために、2年生の時から少しずつ作成したものです。みんなの前で読むのは、はずかしくてきんちょうしました。わらわれたらどうしようと、少しふあんに思いました。でも、みんなしっかり聞いてくれました。だれもわらっていませんでした。ずっとしんけんに見てくれました。ゆうきを出してよかったです。今では、ロジャーマイクのことにはきょうみをもってくれる子や、わたしが聞こえない時にかたをとんとんとたたいて教えてくれる子もいます。わたしは、聞きやすくとてもうれしいです。これは、友だちのやさしさだと思います。

だから、わたしは友だちのやさしいところになるべく気づけるようになりたいです。そして、だれかがこまっていたら同じようにやさしい行動をとりたいと思います。これからもみんなといっしょに楽しい学校生活を送っていきたいです。